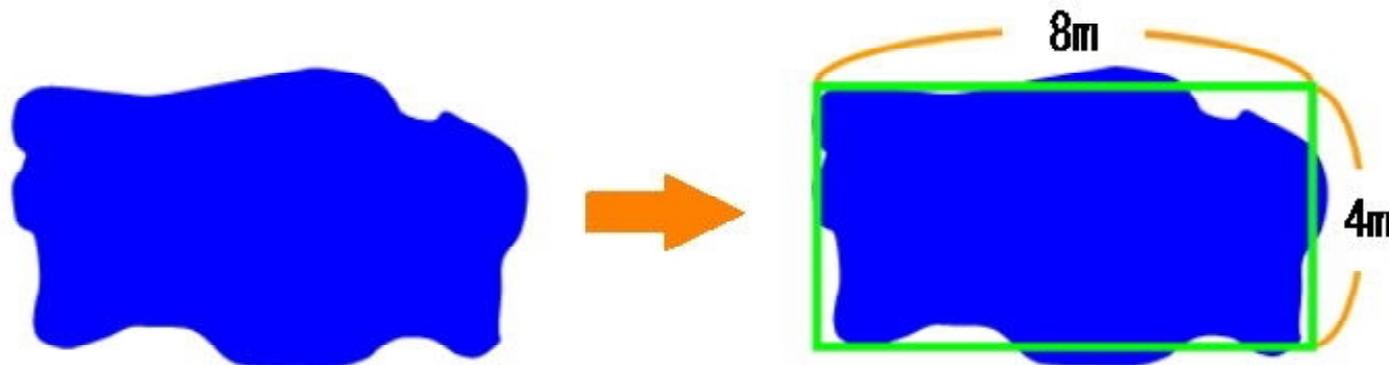


図形の公式を用いたおよその面積

下のような形の池があります。

この池のおよその面積を求めてみましょう。



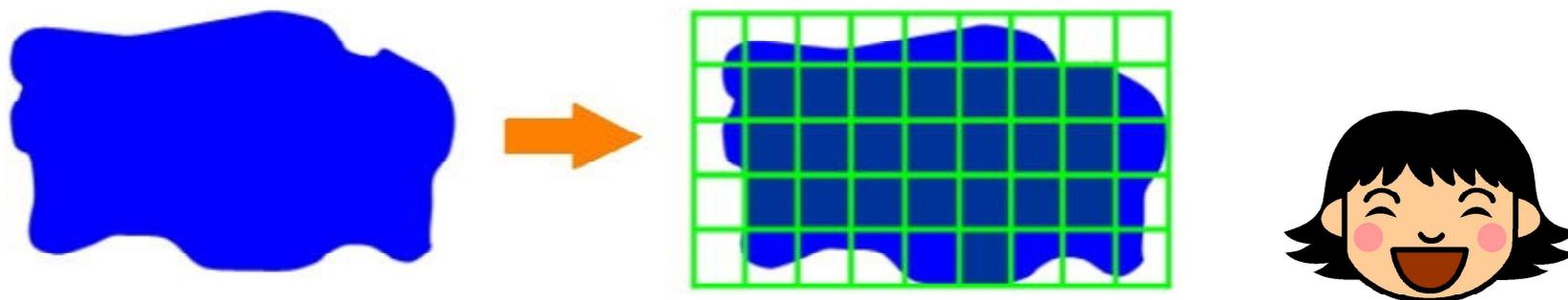
この池の形を長方形と考えて、たてと横の長さをはかったら、たてが4m、横が8mありました。よって、この池の面積は、およそ $4 \times 8 = 32$ (c m²) と考えられます。

このように、不規則な形をしたもののおよその面積は、長方形や三角形などのたんじゅんな形に考えて、求めることができます。

方眼を用いたおよその面積

下のような形の池があります。

この池のおよその面積を求めてみましょう。



この池の上に1めもりが1mの方眼をつくり、方眼の数を数えます。

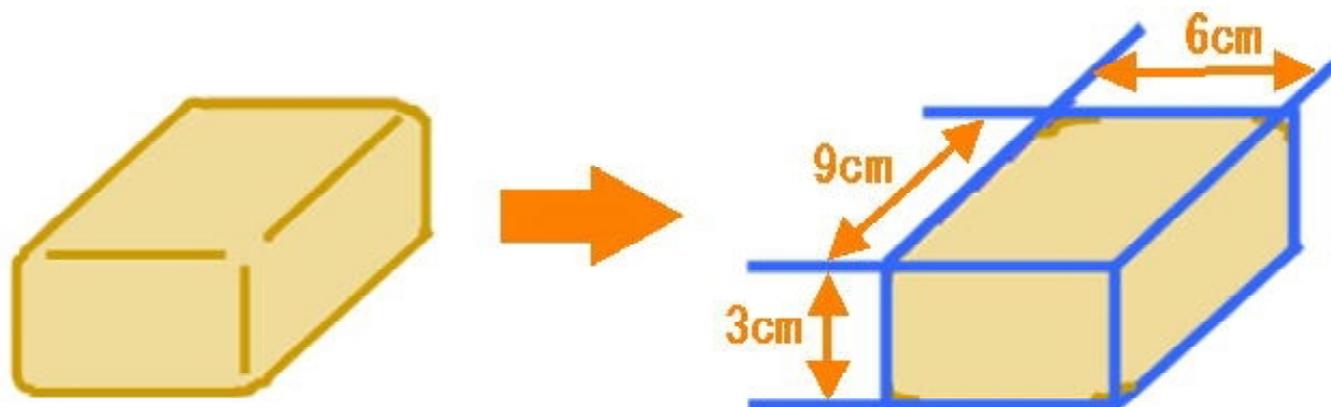
■ は 1 m^2 ， ■ は半分の 0.5 m^2 として計算すると、池の面積は、

およそ $1 \times 22 + 0.5 \times 20 = 32\text{ (m}^2\text{)}$ と考えられます。

このように、不規則な形をしたもののおよその面積は、方眼を求めて用いることができます

およその体積

下のような形の石けんがあります。この石けんのおよその体積を求めてみましょう。



この石けんの形を直方体と考えて、たて、よこ、高さの長さをはかったら、たてが9 cm、横が6 cm、高さが3 cmありました。

よって、この石けんの体積は、およそ $9 \times 6 \times 3 = 162$ (cm³) と考えられます。

このように不規則な形をしたもののおよその体積は、直方体や立方体などのたんじゅんな形に考えて、求めることができます。